

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

Q - 2 2 (気管内吸引、消毒、滅菌)

気管切開患者の気管内への吸引チューブの消毒方法について。

当病院では1消毒薬用のボトルと、2注射用蒸留水を入れたボトル計2個を準備して吸引を実施している。

吸引後のチューブは使用後、

消毒薬(テゴー5<sup>®</sup>)を入れたボトル(滅菌済)に入れ、漬けている。

使用時には撮子でそのチューブを取り出し、注射用蒸留水を通し、それを再び吸引に使用している。

消毒薬は3回/日、注射用蒸留水も適時交換している。

チューブは毎日交換している。

1. テゴーの消毒薬を希釈する溶液は注射用蒸留水の代わりに水道水で希釈するのは不適當でしょうか？
2. 消毒薬につけていたチューブを取り出し、次にチューブの中を通す注射用蒸留水の代わりにこれも水道水を使用することは不適當でしょうか？
3. 吸引後のチューブはまず、水道水に漬けて、予めチューブの内外を洗い落とし(消毒薬の力価を保つため)、それから、 、 とするのが適當でしょうか？(この場合ボトルは3個になります)
4. 吸引が原因となる感染症、粘膜障害などを避けるべく、留意しなければなりません、経済的効率を考慮した最も良い吸引方法をご教授下さい。
5. 上記の件につき、出来れば文献もご紹介下さい。

A - 2 2

1. 水道水は塩素を含み、一般細菌も100個/mL未満まで許容されています。このような水で、消毒剤を希釈することは不適當と考えられます。
- 2と3. 気管内操作は滅菌レベルが求められています。上記と同じく、不適當と考えます。
4. チューブ類は構造上洗浄消毒を完全に遂行できないというのが、一般的考え方です。  
使い捨てチューブにすべきと考えます。  
使い捨てチューブは安価で、経済的にも問題ありません。  
業務上も作業が格段に単純化されます。
5. メジカルフレンド社「エビデンスに基づいた感染制御：第2集」47ページ。